

科目名		授業形態	担当教員名	
言語聴覚障害診断学Ⅱ（成人）		講義	今井 絵美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間 （ 1 単位）		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
標準失語症検査（SLTA）を中心とした検査実施の基本姿勢、実施方法、採点・記載方法の学びを通して、失語症および言語聴覚療法の評価についての理解を深めることを目的とする。				
授業の到達目標				
SLTAの実施・および採点について理解し、演習を通して実践できるようになる。演習を通して、患者の症状観察の着眼点および患者への教示や声かけといった臨床スキルについて、自らを省察することができるようになる。				
授業計画				
回	内容			
1	SLTA 概説,「聴く」①			
2	SLTA 「聴く」②、「話す」①			
3	SLTA 「話す」②			
4	SLTA 「読む」			
5	SLTA 「書く」			
6	SLTA 演習①			
7	SLTA 演習②			
8	SLTA まとめ			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	80%	検査の目的、手法についての理解度を評価基準とする。		
レポート	10%	授業中に行う検査演習への取り組み、評価表作成をもとに評価する。		
小テスト				
平常点	10%	授業態度や予習復習によって評価する。		
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
標準失語症検査マニュアル 改訂第2版		日本高次脳機能障害学会	新興医学出版社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				